

Daigasグループ “小さな灯”運動の概要



“小さな灯”運動 シンボルマーク

▽ “小さな灯”運動の仕組み

○ “小さな灯運動”は、昭和56年（1981年）の国際障害者年に、大阪ガスグループ各社と従業員等からの寄付で発足した社会貢献活動。

○ 「私たち一人ひとりが身近なことに関心を持ち、地域社会のさまざまな問題の解決に自らの意思で積極的に取り組んでいこう」という考え方にに基づき、社員が自主的に活動を企画し、参加し、続けていく点が、運動の特徴。

○ 発足後40年以上にわたって、児童福祉施設の子どもたち、高齢者、障がい者、災害被災地等への支援活動を継続。

○ “小さな灯”基金は、“小さな灯”運動の開始と同時に創設され、グループ従業員、その他関係先などからのチャリティカレンダー募金をはじめとする「募金」で成り立っている。集まった募金は、各地域の社会福祉活動や“小さな灯”運動の活動資金として役立てられている。

